

文庫めぐり

(10)

京都府立医科大学附属図書館

平成四年(一九九二)、大学正門前の広小路北側の地に地上二階地下二階、建築面積二〇二二平方メートルの図書館が完成した。前庭から玄関ホールを経てロビーに入ると、右手受付カウンターで職員が利用について丁寧に教えてくれる。端末によるオンライン文献検索・CD-ROM・抄録(索引に専門コンピュータシステム)で資料を求める。本学にない図書については、係員が相互貸与・オンライン文献検索を依頼する(有料)。

一階には閲覧席(七七席)、学術研究者のための個人閲覧室(五室―六日間連続使用可)、二階には第二(八一席)、第三閲覧室(三四席、インターネット利用可)がある。

ホールの階段を昇ると雄渾な筆跡の「中央図書館」の扁額が眼に入る。右に廻ると明治五年(一八七二)創立時の資料展示室、さらに会議室から視聴覚設備を備えたAVルーム(四二席、インターネット利用可)・ヴィデオルーム・セミナールームに続く。合同講義棟では昨年十月に中橋弥光会長が第一〇一回日本医史学会を開催、館長蘆原司教授らがスキヤンした古医書挿絵の細部をパソコンで提示した。

地下の書庫(雑誌十二万冊、単行書七万五千冊)、わけて

も本学関係図書(八千冊)を収納する貴重書庫には古医書など第一級資料も多い。原書(独・英・蘭書など)和洋医学雑誌や明治の医人の著書・論文、教室資料などが保存されている。平成九年(一九九七)創立一二五周年記念事業として『古醫書目録』(A4判、二二〇ページ、洋書二二七七冊、和書三〇三〇冊収録)と明治四年(一八七一)よりの本学関係資料布令・通達、行事、名簿・写真・卒業アルバムを収録した『現存資料仮目録』が発刊された。青蓮会※(学友会)で入手できる(頒価一万円)。

沿革は古い。明治十九年(一八八六)京都府医会が生まれ、校友会が二十三年(二八九〇)院内に閲覧室を設けた。大学直轄の赤煉瓦の懐かしい旧中央図書館は大正十五年(一九二六)に建った。向かい合う医療技術短大との間の遊歩道の桜の眺めはすばらしい。北側は盧山寺(紫式部邸跡)、東側には豊臣秀吉が築いた「史跡御土居」が遺っており図書館の環境は大変よい。学外の利用者は館長の許可を受けてほしい。

「開館時間」平日は九時〜二十時。土曜日は十時〜一七時
「休館日」日曜祝祭日と毎日朔日 年末年始

「所在地」京都市上京区清和院町寺町東 中御霊町四一〇
☎075-333-5400〜5404 ※所在地 上京区荒神口西三
本木下る ☎075-331-0066 (藤田 俊夫)